

2020年9月12日

課題名：膵癌の糖尿病合併に関する多施設共同後ろ向き疫学研究

◆研究の目的と概要◆

本研究は、膵がん患者について糖尿病の合併率や糖尿病の発症時期、膵がん発症と糖尿病増悪の関係を調べることによって糖尿病に着目した膵がんの検診法を確立することを目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2015年1月から、2019年12月までの間に、膵管がんであると診断された方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長、体重、飲酒歴、喫煙歴、既往歴や合併症、膵がんの家族歴、膵がんの診断日や病期、診断方法、診断時の自覚症状、血液検査結果、糖尿病の診断時期や増悪の有無、治療内容、転帰（最終診察日、死亡日、死因）など

◆研究方法◆

上記情報を、患者さんの氏名などがわからないようにしたうえで、下記機関に対して電子的配信で提供します。

◆主な共同研究機関及び研究責任者◆

東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学 正宗 淳 医師が主体となって実施しており、全国46施設が参加しています。

主体のホームページ <https://www.med.tohoku.ac.jp/about/laboratory/O21.html>

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

消化器内科 研究責任者 羽田 綾子

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明